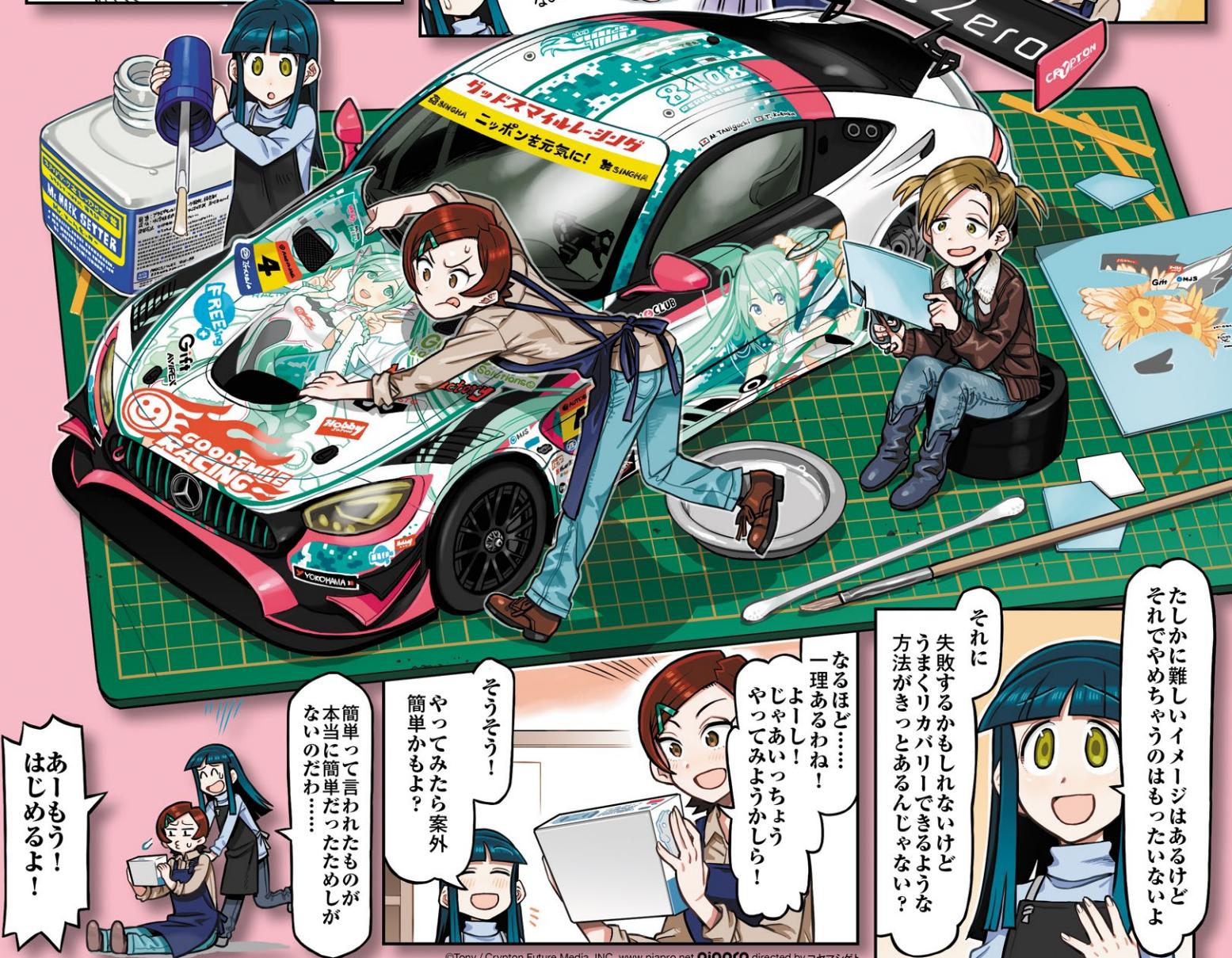


クルマ模型ってめんどくさい!!

デカール攻略大作戦+高橋浩二作例集



クルマ模型……
キレイなクルマはモデラーノの
憧れよね……!



それに
失敗するかもしれないけど
うまくリカバリーできるような
方法がきっとあるんじやない?

なるほど……
一理あるわね!
よーし!
じゃあいつちよう
やってみようかしら!

そうそう!
やつてみたら案外
簡単かもよ?
あーもう! はじめるよ!

簡単に言われたものが
本当に簡単だったためしが
ないのだわ……

クルマ模型って めんどくさい!!

デカール攻略大作戦+高橋浩二作例集

デカールって手軽に塗装や
マーキングが再現できて
助かるよねえ
高橋浩二あるし

漫画/クサダ

まあ……
逆にいえばデカールがキマれば
グッと見映えがよくなるわね！

©Tony / Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro directed by コヤマシゲト
©reduice / Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro



クルマ模型って めんどくさい!!

Model Graphix ARCHIVES
モデルグラフィックス編

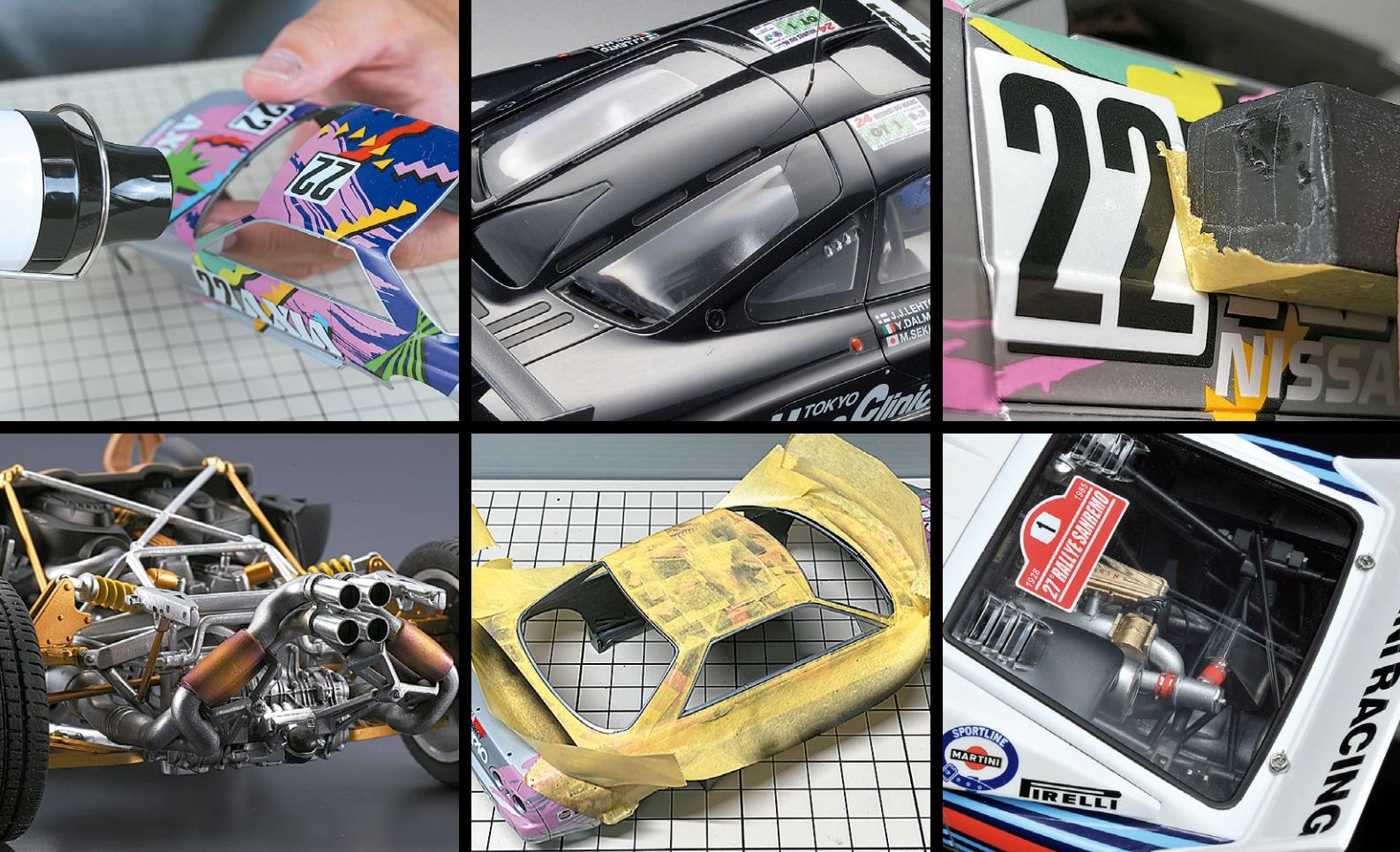
Contents;

デカール攻略大作戦+高橋浩二作例集

デカール攻略大作戦	
デカールの予備知識	10
デカールワークの技を伝授。	12
キミにもできるデカール自作術	25
教えて! デカールレスキー	29
グッドスマイル 初音ミク AMG 2017	
SuperGT/GT300	
「メルセデス AMG GT3」	
(タミヤ 1/24+別売デカール)	30
グッドスマイル 初音ミク AMG 2017年SPA 24時間耐久レース	
(タミヤ 1/24+別売デカール)	36
グッドスマイル 初音ミク SLS 2015 SUPER GT開幕戦	
(フジミ 1/24)	40
AXIA スカイラインGT-R 1991年JTC (AXIAスカイラインGT-R [BNR32 Gr.A仕様] 1991 JTC)	
(ハセガワ 1/24)	48
ジャガー Eタイプ (クーペ)	
(ドイツレベル 1/24)	56
バガーニ・ウアイラ	
(青島文化教材社 1/24)	64
ランチア LC2 (前期型)	
(イタリイ 1/24)	
ランチア LC2 1985年ルマン24時間レース仕様 (モデラーズ 1/24)	
ランチア LC2 1986年シルバーストン仕様 (タミヤ 1/24電動RC (タムテック)用スペアボディ+モデラーズ 1/24)	70
フォード GT ル・マン 2017	
(レベル 1/24)	
フォード GT ヘリテイジエディション	
(タミヤ 1/24)	78
フォードGT40 '69ルマン優勝車	
(フジミ 1/24)	86
三菱 スタリオン Gr.A '87年JTC仕様/ '88年マカオ ギアレース仕様 (青島文化教材社/BEEMAX 1/24)	88
マクラーレン F1 GTR ショートテール ル・マン 1995 #59	
マクラーレン F1 GTR ショートテール ル・マン 1995 #24 (フジミ 1/24)	93
ボルシェ 911 カレラ RSR ターボ ル・マン 1974 #22 (フジミ 1/24)	100
ボルシェ 934 RSR 1976年ヨーロッパGT選手権第3戦 ノリスリンク ヴァイラント・クレマー・チーム (ドイツレベル 1/24)	106
ランチア 037 ラリー 1985 ラリー サンレモ (ハセガワ 1/24改造)	110
ランチア デルタ HF インテグラーレ エヴォルツィオーネ (ハセガワ 1/24改造)	116
ランチア デルタ S4 ツール・ド・コルス 1986 (青島文化教材社/BEEMAX 1/24)	120
三菱 ランサー ターボ 1982 1000湖ラリー (プラッツ/nunu、フジミ 1/24)	124
ST165 セリカ GT-FOUR 1989年オーストラリアラリー仕様 (青島文化教材社 1/24)	134
TA64 セリカ '85サファリラリー仕様 (青島文化教材社/BEEMAX 1/24)	138



*本書では基本的に雑誌掲載当時の記事表記に準じるようにしています。そのため、「本誌」＝「月刊モデルグラフィックス」の略となっています。また、記事中にあるマテリアルやキットに関する表記は掲載当時のものになっているため、現在は名称が変更になっていたり価格が改訂されたり販売が停止されていたりする場合があります。なお、本書掲載の作例ではタバコスポンサーを再現していますが、キットにはデカールは付属しません



いろいろある模型ジャンルの中でも敬遠されがちなクルマ模型。「なんだかめんどくさそう」と思ったそこのアナタにこそ、読んでほしいのが本書です。

クルマ模型って何がめんどくさいの？

「クルマ模型ってめんどくさそう」、そんなふうに思って敬遠している方が多くいるようです。模型雑誌に掲載されている作例はとてもキレイでカッコいい、でも自分にはムリ、だってめんどくさそうだし……そんなアナタにこそ読んでほしいのが本書です。

まず問いたいのですが、クルマ模型の製作はめんどくさいのか？ ハイ、たしかにめんどくさいです。でもそれを言うなら、プラモデルの製作はどのジャンルでもめんどくさいといえばめんどくさいものです。だって、わざわざパーツ状態のものを買ってきて自分で組み立て塗るわけですから。完成品のミニカーを買ってきて飾るのと比べれば「めんどくさい」に決まっています。ではなぜとくに「クルマ模型は」というふうに思ってしまうかというと、それはクルマ模型の製作作業は、慣れていないモデラーにとっては難しいから。そう、「めんどくさそう」と思ってしまう原因は、「キレイに仕上げるのが難しい」からなのです。

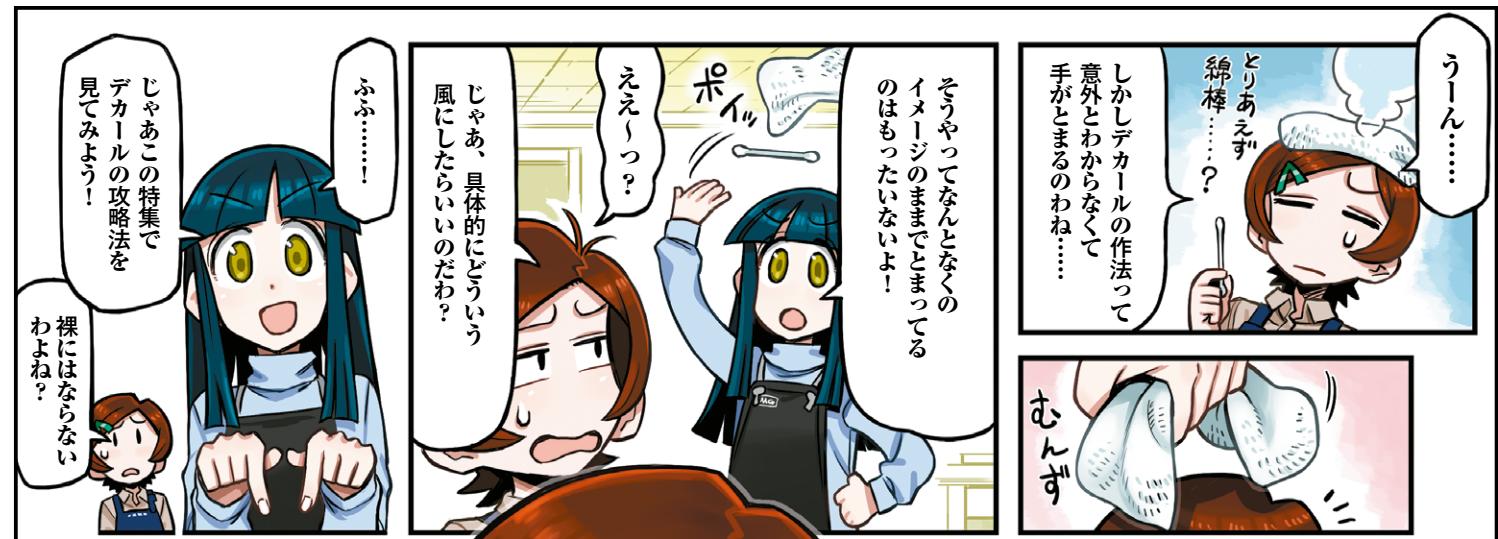
クルマ模型完成品は、全面デカール仕上げや研ぎ出し、金属質感やカーボン地の表現など、クルマ模型に特有なテクニックの集合体。やったことのないモデラーにとっては難しくてめんどくさいものに見えるでしょう。たしかにクルマ模型ではほかのジャンルに比べると高い水準の工作や塗装技術が要求されます。でも、難しいのはあくまでテクニック。適切な工具を使い理

クルマ模型ってめんどくさい!!

文／森慎二

にかなった工作法を身につければできるようになります。たしかに本書に掲載されているような美麗な完成品を一朝一夕に作ることはできないかもしれません。でも、本書をじっくりとお読みいただければ、美麗な完成品がひとつひとつ緻密に積み上げられたテクニックの集積体であることがおわかりいただけるはずです。

クルマ模型は、とにかく完成後にアラが目立ちやすいものです。キレイに仕上げるためには、できるだけ失敗をしないような段取りとテクニックが必要。都市伝説的に言われる「カーモデラーは真っ裸で塗装する」なんていうのも、「塗装時に塗膜にホコリがついてしまうのをできうる限り減らす」工夫なわけです。でも、作っているのは人間なのでどうしても失敗してしまうこともあります。「これだけキレイに作れるのは失敗しないからなんだろう」と思われるかもしれません、実際にはそんなことはありません。どんな達人でも失敗はします。達人が美麗な完成品を作れるのは、まずできるだけ失敗することを想定して工夫しているから、そして失敗したあとのリカバリーが的確だからです。本書では、そんな達人ならではのリカバリー術についても深く紹介しています。アナタも本書を読んで、「めんどくさい」の先にあるクルマ模型の醍醐味を味わってみてください。難しいからこそおもしろく、完成後の達成感に浸れる、それがクルマ模型のよさです。 ■



漫画/クサダ



（巻頭特集）「クルマ模型ってめんどくさい」
デカール攻略大作戦!



レーシングカーにつきものの ルーバー状ディテールは超難物

このLC2は、フロントタイヤ上のルーバー状のエアーアウトレットが難物でした。かなり凸凹しているのでデカールが浮きまくり。ヒートガンを使って濡らした筆でいいねに押しつけて……というのをひたすらやるんですが、それでもうまくいかない。これくらい出っ張っているとぜんぜんきれいに密着しません。そこをムリヤリ軟化剤で密着させるとデカールの柄が崩れますので、塗料でタッチアップして修整ということになります。普通そういう場合はマスキングをしてエアブラシでタッチアップをするのですが、このようなルーバー状のところだとマスキングテープがすべてきっちり密着するように貼れません。エアブラシで塗装すると密着していないところから塗料がもれるんです。なので、がんばって筆塗りでタッチアップしました。ストライプのラインを手描きできれいに描えるのはとても難しいですね。GTや耐久系のマシンはこういうルーバーがあることが多いですけれど、デカール貼り的には最難関かもしれない。平面に凹みがあるところはまだいいんです。出っ張ったところは本当に難しい。ここのように小さな凸部が連続しているのは最悪です。



●本誌'21年3月号掲載。'86年のWEC シルバーストーンに出走したランチアLC2の後期仕様の1/24モデル。タミヤの1/24電動RC(タムテック)用スペアボディーとモテラーズの1/24レジンキャストキットをムリヤリ合体して作るという技で製作されている



色の境目にあるストライプ、 じつはかなりやっかいなんです

失敗することはよくあっても塗り直しまでやることはあまりないんですが、じつはこれ、まるごと塗り直しをしています。最初は白の上にマスキングをして青を塗り分け、その上にデカールを貼ったんです。でもそうすると、塗り分けの境界には塗膜の段差ができますよね。その段差がデカールのゴールドのラインのところにきて、下地の凸凹がラインのところですごい目立っちゃった。金属色を塗ったところって下地表面の凸凹がすごい目立ちますよね、それと同じです。どうにも修整できなかつたので一回デカールごと塗料をすべて剥がしてしまいました。そして今度は、全体に白を塗ってそのまま先にデカールを貼りました。それをクリアーコートしてからマスキングで青を塗り分けています。ロスマンズカラーなどによくある、色分けのところにストライプが入るカラーリングのデカールはやっかいなことが多いですね。先に白と青を塗り分けて、クリアーコート→研ぎ出しをして段差をなくしてからデカールを貼ってもよいのですけれど、一回研ぎ出しの作業を挟むのは手間的に……という判断でした。



●本誌'19年5月号掲載。オペル マンタ400 GR.B サンレモラリー 1983 ベルキット 1/24 インジェクションプラスチックキット。読者持ち込み扱いとして掲載された作例で、REJIモデルのデカールを使用してキットから仕様変更されている

、超高難易度デカール貼り作例を解説。

具体的なノウハウを解説するまえに、まず高橋氏のデカール貼りの技のレベルをおわかりいただけるよう、過去作の「デカール貼りの難易度が高かったモデル」を抜粋して解説してもらいました。端から見ると「苦労したような跡もなくきれいに貼れてますね」というふうに見えるかもしれません、この4台はそれぞれ相当な難物。達人のデカール貼りの技が込められているのです



キャラクターをより華やかに
映えさせる地味～な労力

まずストライプのデカールを貼って上にミクさんのデカールを重ねたら、顔のところが思いっきり透けちゃったんです。顔色も悪くなって。それでデカールを貼った上からミクさんのところだけ白で塗り分けてデカールを貼ってみたんですが、白は隠蔽力が低いので塗膜の段差がかなりできます。そのうえにさらにデカールを貼ったのですごい段差になりました。ショウがないのでそのままクリアーコートして研ぎ出しましたが、たいへん労力がかかりました。それで、同じクルマの別のラウンド仕様（この作例）をもう一度作るときにやり方を変えたんです。まず白を塗ったら先にミクさんのデカールを貼ってしまいます。そこでいったんクリアーコート。その上にミクさんの形に切り出したマスキングテープを貼り、さらにそのうえにストライプデカールを貼ります。そしてマスキングテープをガイドにミクさんの形にストライプデカールを切り抜きました。ミクさんのところだけ分厚くなつて段差ができるないように何度もやってみて辿り着いた手順ですが、改めて説明してみるとかなりややこしいですね（笑）



●ポルシェ 911GT3R 初音ミク×GSRポルシェRd.5仕様 フジミ 1/24 インジェクションプラスチックキット。今回特集で製作しているメルセデス AMG GT3と同じく全面デカール仕上げで、グラデーションのストライプとキャラクターイラストが重なるという高難易度なカラーリングになっている



表面が“凸凹”すぎて全然なじまない
ときだってありますね……

キット同梱のデカールは発色が納得いかなかったのでサードパーティの市販デカールを使ったんですが、厚めでクリアー耐性の低いデカールだったので、ボディー形状になじんでくれずいろんなところが破れまくりました。この仕様のデルタって単純なよう意外と凸凹が多いデザイン。エンジンが大きくなつた都合でバルジがボーンと張り出していたりタイヤを収めるためのオーバーフェンダーが複雑な曲面だったり……初期のシンプルだったころと比べると全然別のクルマと言っていいくらい複雑な形です。軟化剤を使ってなじませるにしても、溶けてくるともう動かせないし触ることでできなくなつて、どうしようもなくなつてしまう。なので、破れたところは泣きながら塗料でタッチアップしています。もうタッチアップの嵐です。デカール部分は上から塗ったところのほうが多いくらい。筆塗りでのマスキングは失敗が多いのでほぼマスキングしてエアブラシで塗り分けていますが、もう何度も何度も繰り返して……というカンジで、ごまかしの塊だつたりします。まあ、いま改めて見ると、正直どこを直したか自分でもわからないくらい……なんとかなるもんです。



●本誌'20年11月号掲載。「ランチア “スーパー・デルタ” [1992 WRC メイクス チャンピオン]」ハセガワ 1/24 インジェクションプラスチックキット。'94年に発売されたベテランキットで、名車として以降も再版され続けているが、いまのレベルできれいに作ろうとするとかなり大がかりな修整を要する難キット

まずは達人の腕前を知るべく

ここに上げたのはデカール貼りの達人 高橋氏をも喰らせた難易度が高いモデルたち。ポイントと技を解説してもらおう。





全面デカールの クルマも怖くない、達人の デカール貼りの技とは?

デカール貼りの特集ということで今回お呼びしたのが、本誌ではおなじみの高橋浩二氏
数々の美麗なカーモデル完成品を作ってきた高橋氏が実際にキットを製作しているところを
取材させてもらうことになったのですが、一般的に言われるデカール貼りのセオリーとは違う
「筆で貼る」「ヒートガンでなじませる」「軟化剤はなるべく使わない」といった技法がつぎつぎと……
でも、よくよく話をうかがってみると、どの技法も合理的でリスクに配慮されていることがわかります
本特集では、そんな高橋氏のデカール貼りの技をできるかぎり詳しくお伝えしていきましょう

高橋氏
製作の美麗なる
全面デカール作例
どうやったら
こんなふうに
貼れる?

ないことはないと思ひますよ。失敗したところはリカバリーしてゐるんです。

編 失敗するんだ、と聞いてちょっとと妄心しました。カーモデルはいつさい失敗できないのかと思つていてたのです……。

高橋 痛装後の最後の接着工程なんかはいつさい失敗できないですね。そういう意味では、デカール貼りつて好きな工程なんですか。リカバリ―ができますから。そのぶん時間がも見越して一枚あたり1時間は確保しておく、だから「時間があるとき」とさしか貼らない、なんですね。

本当に恥ずかしい。
えへへ！（作例をじっくりと見回す）ど
こが失敗したかわからないんですけど……。
高橋 たとえば、「こ」とが「こ」とか。
編 ん？ ……あ！ たしかに、「こ」く近
づいてよく見ると、「デカール」を切り貼り
して重ねてありますね。
高橋 正直、一箇所も失敗しなかつたこと
つてこれまで一回もないんじゃないかなあ

高橋 使いますよ。むしろ強めのやつを使つてます。ただ、基本はヒートガンで温めて柔らかくするので、使わないですむしろではなくべく使わないということです。軟化剤は最後の手段だと思っているので。編なるほど! だから高橋さんの作例はデカールの失敗がないんですね。

高橋 ええ、一枚貼るのに1時間目安、一枚たつたら10時間、ちゃんと確保してます?
編 してない……ですね。普通は。

高橋 軟化剤を使つたりして時間短縮もできなくはないんですけど、そうすると溶かしたり破いちやうリスクがすごく高くなる編え!? ということは、高橋さんはデカレシヤリモモヤツハ、じょ、う、

編集担当（以下編） すばり質問です。デカ

テクニックはいろいろあるけれど、 いちばんの秘訣って聞かれたら…… 時間があるときにしか貼らないこと！

え!? そんなのあたりまえ?

でも……ちゃんと1枚あたり最低で1時間目安で確保して、
時間をかけてデカール貼ります?



(巻頭特集) クルマ模型ってめんどくさい!?
デカール攻略大作戦!

特集ナビゲーター **高橋浩二** (主にカーモデラー)

たかはしこうじ／サラリーマン兼雑誌作例モデル。
カーモデルやバイクモデルの作例を製作することが多いが、それ以外のジャンルにも臆さず手を出すプラモ
モデル全般が大好きなベテラン。模型製作のほかの趣味は、4輪でのジムカーナや実車いじりで、本誌では編集

部にイジられることが多くふたつ名も多数。そんな高橋氏が製作するカーモデルの印象は、ひと言でいうと
「端正かつ美麗」。自ら「理系思考」というとおり、合
理的な思考で蓄積した経験に基づく独自の技法で、ハ
イクオリティーなカーモデル完成品を生み出している

綿棒を使わない!?



達人ならではのデカール貼りテクニック満載でお贈りします！

水にドボン!?



研ぎ出しありも解説！

ヒートガン……???



貼りはじめる前に デカールの予備知識

なぜスケールモデルは
シールより水転写式デカールなの?



改めて問われると、はっきり
答えられないなあ……
薄いから? 貼りやすいから?

高橋氏による実技講習のまえに、水転写式デカールの予備知識を整理しておきます。水転写式デカールはうまく使えば完成品の見映えをグッと引き立ててくれますが、その取り扱いにはいろいろと注意が必要。まずは構造や特性とその弱点、そしてどんな失敗が起こりうるのかをきっちり把握したうえで、対策を練っていくようにします。

(巻頭特集) クルマ模型でめんどうさいわ!
デカール攻略大作戦!

多くのスケールモデルで採用されている水転写式デカールは、いわゆるシールと比べると薄くて柔軟性があるので、曲面や凹凸になじませやすいというのが長所。薄いのでスケール感もあまり損ないません。いことづくめのようですが、その薄さと柔らかさは諸刃の剣。同時に水転写式デカールの最大の弱点もなっています。

水転写式デカールは薄くて柔らかいぶん、一般的なシールと比べると破れたり溶けたりしやすいです。ものにもりますが、デカールはピンセットの先で少しついた程度で穴が開いてしまいます。無理に引っ張ると簡単に裂けます。デカール軟化剤を使えばバーツの凸凹になじませることができます。また、ラッカーラインの溶剤や水でも溶けるので、デカールの上に塗装をするときも注意が必要です。追従性がよくスケール感を損なわないというメリット

をきっちり活かしてうまく使うためには、取り扱いに対する注意と経験が必要。このようないでカールの弱点をどうやってのり越えるかが、完成品をきれいに仕上げるための大きなポイントとなります。

弱点について整理してみましょう。破れたり溶けたりしやすいという弱点がもつとも大きく関わってくるのは、デカール軟化剤の使用とデカールの上へのクリアーコートまでの工程でしょう。どうすればデカール軟化剤の使用とデカールの上へのクリアーコートをできるか、そういうことをひとつずつ考えて対策していくことがとても大切です。

そしてもうひとつ。いってしまえばデカール貼りは平面のデカールを無理矢理立体のバーツの形に変形させる作業。部分的に破れてしまうのはいたしかたないところがあります。そういうところのリカバリーをどうするか、それも必須のスキルとなります。

インレタ



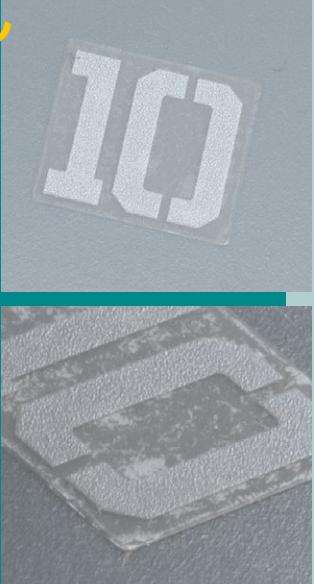
いわゆるインレタ（ドライイデカール、クロマテック、インントなど）は「インスタンントレタリング」の略で、透明シート越しにこすることで印刷部分だけが貼りつけられるというもの。透明層がないので柄だけをくっきり見せることができます。しかし、気をつけて貼らないと柄ごとにすれたりします。また、ベタ印刷はきれいに刷れますが、多色掛け合わせのイラストやグラデーションが苦手です。

デカール



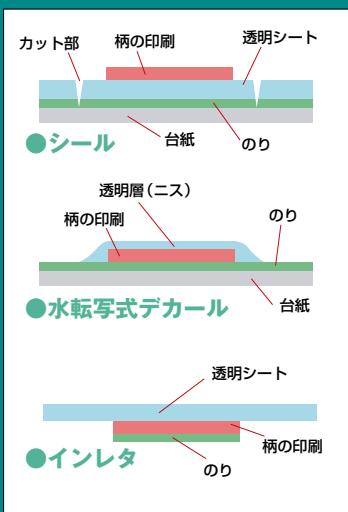
一般的な水転写式デカールは、文字などの柄を印刷したあとに、柄部分がバラバラにならないよう透明層（ニス）を重ねて印刷していく「カット」としますが、一般的なシールは素材が厚めで、刃物やレーザーなどでカットされているので、フチの角が立つている場合が多いです。手堅に貼りますが、厚いので透明層が目立つ、曲面や凹凸にはしません。いかにも「貼りました」というカンジになるので、スケール感を重視するスケールモデルではあまり採用されません。

シール



まったく異なる シール、デカール、 インレタの構造

シールと水転写式デカール、インレタでは構造がまったく違うので、貼り方や特性も異なっています。ポイントは透明層（ニス）/透明シートの位置と使われ方。どの方式も透明なものが柄（から）の印刷がバラバラにならないようにしていますが、その素材や作り方、最終的に除去するかしないかが大きな違い。厚すぎると透明層はいやだけれど透明層がないとバラバラで貼りにくい、その中間を探ったのが水転写式デカールです。なお右図は一般的な例で、水転写式デカールでも透明層を機械的にカットしているものや、水をつけて貼ってから台紙を剥がす、いわゆる「剥離デカール」などもあります。



水転写式デカールを使う メリットと弱点ってなんだろう

模型のマーキングはたいていシール、水転写式デカール、インレタで再現されます。シールの長所はとにかく手軽に貼れて、貼ったあとも比較的丈夫なところ。動かして遊ぶような模型はシールであることが多いのはそのためです。ただし、厚めなので鏡目が目立つのと曲面や凹凸のあるところには貼りにくいです。水転写式デカールの長所は、一般的なシールよりは薄いので曲面や凹凸のあるところにも貼れ、貼ったあとにスケール感を損ないにくどころ。そのかわり強度があまりないので、貼ったままにスケール感を損ないにくいところ。それと「すれば」剥げますし、塗料の溶剤やうすめ液にも弱いです。インレタは透明層がないので、いかにも「貼りました」というカンジにならないのが長所ですが、透明層がないので気をつけないと貼るとときにずれます。また、グラデーションの表現が苦手。プラモデルで採用されていることはまれです。それぞれ一長一短ですが、スケールモデルに限っていえば、水転写式デカールがコスト／貼りやすさ／スケール感のバランスがよく、多くのギットで採用されています。



▲左がよくある失敗例、右が今回の高橋氏の作例。高橋氏の作例はまったく失敗がないよう見えますが、じつは失敗したうえでリカバリーをしています。特集内ではリカバリーのテクニックについても解説していきましょう

▶デカールのシルバーリングは見映えが悪くなるだけでなく、クリアーコートでデカールが溶けたりマスキングで剥がれる要因になります



位置が合わない

●はじめは合わせたつもりなのに貼り終えてみたらずれていた、あるいは何枚か貼っていったら位置が合わなくなってしまった、というようなことはよくあります。1枚のデカールだけなら多少それであまり気にならないこともありますが、複数枚貼り合わせていく場合は、ずれると隙間ができるたり重なってしまって見映えが悪くなります。はじめの位置決めも重要ですが、デカールはのびたり縮んだりもするので臨機応変に対処していきます

破れる、溶ける

●凹凸のところになじまないとデカール軟化剤を使いますが、デカールを溶剤で溶かしているのでもろくなります。どんどん塗ってしまうとしないには溶けてぐずくすになつてそのデカールはもはや修復不可能になるので、軟化剤を使いすぎない対策が必要です。ただ、平面のデカールをいわばムリヤリ立体に貼っているので、一箇所も破れずに完成ということはまずありません。破れたときの対処法をマスターすることも重要です

シルバーリング

●下地とデカールとのあいだに空気が入ってしまうことを「Silvering=シルバーリング」(反射すると銀色っぽく見えるため)と言います。シルバーリングした箇所はデカールが浮いているので事故の原因にもなりやすい要注意箇所。ポイントは、貼っている最中には大丈夫に見えても乾かすと起きる場合が多々あることで、シルバーリングしたらナイフの刃先で穴を開けて密着させて直すなどします

曲面や凹凸になじまない

●キットのパーツは曲面だったり凹凸があつたりしますがデカールは平面。平面のものを延ばしたりして立体形状に合わせていきますが、デカールの硬さやバーツ形状によってはなかなかじんいで密着してくれません。そのまま浮いた状態にしておくと、貼った当初はそれほど気にならなかったりしますが、クリアーコートを重ねたときに溶けたり破れたりする危険性が大。また、スジ彫り部が浮いているとスジ彫りが埋まってしまいます

デカール貼りでよくある"失敗"をパターンごとに把握しよう

デカール貼りは失敗の宝庫。「破れた」「溶けた」「バーツから浮いてしまった」「位置がずれた」「透けた」「シルバーリングしてしまった」……というふうに、いろんなパターンの失敗が起きます。とくに今回の特集の題材のように全面デカール再現のキットはデカールの数が多いので、いやがおうにも凹凸の上に貼つたりデカール同士が重なつたりすることになり、そのぶん失敗する可能性も高くなるでしょう。もちろん、なるべく失敗にくくするようなテクニックや配慮も重要です。でも最後まで「まったく失敗しない」なんてことはありません。失敗を予防しつつ、失敗したらリカバリーをする、これがクルマ模型をうまく作るもうとも大事な秘訣です。リカバリーは失敗箇所や失敗の種類によって作業のタイミングや対処法が変わつてきますので、まずは典型的なデカール貼りの失敗パターンをしきり把握しておきましょう。

デカールが映える"研ぎ出し"はいろいろなやり方がある。

●研ぎ出しがうまくできるとデカールのフチの段差がなくなり、デカールとそれ以外のところのツヤも揃うので、このようにとてもきれいな反射になります。実車はバイナル(ピニール)のカッティングシートを貼りつぶしたりするのであくまで模型的表現ですが、スケール感と美麗さは研ぎ出し仕上げが圧倒的に優れています

▶デカール貼りっぱなしの状態。光の反射の具合によってはデカールの透明層がとても目立つてしまします。デカールの透明層だけをきれいに切り取る、というテクニックもありますが、総合的にかかる手間と仕上がりのよさを考えると、圧倒的に研ぎ出しのほうがオススメです



貼りっぱなし

研ぎ出し後



▶研ぎ出しがうまくできるとデカールのフチの段差がなくなり、デカールとそれ以外のところのツヤも揃うので、このようにとてもきれいな反射になります。実車はバイナル(ピニール)のカッティングシートを貼りつぶしたりするのであくまで模型的表現ですが、スケール感と美麗さは研ぎ出し仕上げが圧倒的に優れています



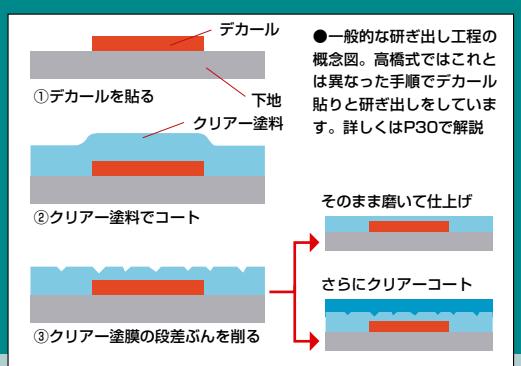
段差を削る



クリアーコートでコート

▶研ぎ出しへでは、デカールの厚さよりクリアーコートが厚くなるようクリアーコートを塗るので、デカールを溶かさないようにするのが難所です。そしてさらに、クリアーコートの下のデカールや下地塗装を剥がないようにわざかに段差ぶんだけを削ることになります。多分に体感と経験値がモノをいうテクニックなので、達人ならではのコツを詳しく紹介しましょう

▶一般的によくやられる研ぎ出しの工程を模式図で表すとこのようになります。デカールの厚みより厚いクリアーコートの層を作り、デカールで盛り上がった部分が平滑になるよう1500番～の耐水性サンドペーパーで削るとこまではだいたいみなさん同じやり方ですが、作る人や作られる車種によって変わってくるのが、そのあとのツヤを復活させる工程。大きく分けると、右の図のようにそのまま磨いて仕上げる方法とクリアーコートを重ねる方法があり、クリアーコートを重ねる場合も、仕上げのクリアーコートを吹きつぶしにする、さらに磨くなどに分かれます(上写真の小田氏の作例は半ツヤクリアーコートを重ねて仕上げ)



こんなにうまく
デカール貼れないってば



貼り方のポイントを
詳しく教えてくれるって！
やってみようよ

(巻頭特集)「クルマ模型ってめっちゃいい!」2
デカール攻略大作戦!

グッドスマイル 初音ミク
AMG 2017 SuperGT/GT300

「メルセデス AMG GT3」

タミヤ 1/24

インジェクション

プラスチックキット

発売中 辺4730円

「グッドスマイル 初音ミク

AMG 2017 SuperGT

Ver. 1/24scale用

デカール」

発売中 税込3300円

製作・解説／

高橋浩二

GOODSMILE
Logistics & Solutions

Max Factory

BANPRESTO

Hobby
JAPAN

GOODSMILE
RACING



達人カーモデラー
高橋浩二が

デカールワークの技を
伝授。

「デカール貼りの基本的な手順や軟化剤の種類なんかはわかっているつもりなんだけど、実際に貼ってみるとなんだかうまくいかない……」そんな方、意外と多くないですか？ そこで今回はカーモデルの達人 高橋氏の実践的なデカールワークを張り付きで取材し、コツやポイントを解説していただくことにしました。高橋氏ならではの道具の使い方や、経験に裏打ちされたリカバリー・テクなどなど、デカール貼りの奥義を伝授しちゃいます！



見慣れない道具もあるんだけど……？

綿棒ではなく筆で

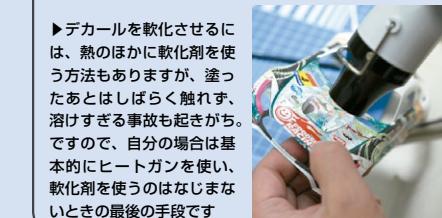
●あくまで私の場合ですが、綿棒を使用するとき、デカールが綿棒にくっついたり、デカールの上で滑らせたときにデカールが切れたり、コロコロ転がしたらデカールが歪んだりすることが多く、うまく制御できず困っていました。これを濡らした平筆で切り替えたところ問題がほぼ解消しました。表面の凸凹がきつく平筆ではデカールを密着できない場合のみ綿棒を使うっています



⑦

筆で貼れるの？

▲塩ビの曲げ加工やシール剥がしなどいろいろな用途に使われるヒートガン。さまざまなタイプがありますが、ここで使っているものは200°C~350°Cの熱風が出来る小型のもの。ドライヤーより温度が高く風量が抑えめなのが特徴で2000円以下で買えます。自分がヒートガンをメインに使う理由は、必要なときに必要な箇所だけにすぐ熱風をあてられるから。通常のドライヤーと違いボット的に熱をかけられ水分を飛ばしません



①ヒートガン／デカールは温めると柔らかくなるので、バーツ表面の曲面にデカールを追従させるために使います

②デカール軟化剤／デカールのり／デカール軟化剤はバーツの表面形状が複雑で密着しにくいときの最後の切り札。なるべく使わぬときは要注意（グッドスマイルカンパニーのGSRデカール軟着剤とGSRデカール剛力軟化剤を使用。後者は現在市場在庫のみで、タミヤのマークフィット・スーパー・ハードが同様に使えます）。デカールのりは、のりが劣化した古いデカールやどうしても密着しない場合に使います

③平筆／バーツとデカールのあいだに残る水を抜くときや、デカールを曲面や凹凸になじますときに綿棒の代わりに使っています。水分を吸い取ったり、逆に水分を足すときにも使い、デカール貼り作業のほぼすべての場面で活躍します

④ピンセット／デカールを台紙ごと水につけるときや、引き

上げるとき、デカールをバーツに載せるときなど、繊細な作業をするときに活躍する“第二の指”

⑤デザインナイフ／おもにデカール台紙を切るときに使いますが、場合によってはバーツ上でデカールを切ったり、デカールの下の気泡を抜くために穴を開けたりするときにも使います。常によく切れる刃に替えるようにしましょう

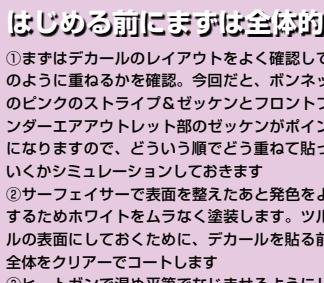
⑥深皿／デカールを浸ける水をためておく容器物。最近は便利な専用工具も市販されていますが、自分は子供の離乳食を作るときに使っていた深皿を再利用しています。要は水がためられればよいのですが、なるべく置いたときに安定する形のものにしましょう。ぶつかって水がこぼれると大惨事です

⑦キッチンペーパー／デカールの余分な水を吸い取ったり、筆に含まれる水分を吸い取るときに使います。キッチンペーパーはホコリや紙の粉がでにくいのがポイントです



どういう手順で作業を進めていくの？

デカールをきれいに貼るコツはいろいろあります。まずはバーツをツルツルな表面にしておくことが重要。また、デカールの発色がよくなるよう明るい下地塗装色になっていることも大切です。また、今回お見せする車種では、例のように全面デカールで、デカールが貼り重ねられるところをどうう順番でどうするかも重要な要素になります。まずは貼りはじめる前にデカールとバーツをよく眺めて、どこをどういう下地色で塗るか、下地をツヤありにするときにデカールが貼り重ねられるところをどうう順番で貼り重ねるか、重なるところの境目をどう処理するかをイメージしておくよ



はじめる前にまずは全体的な工程をイメージすべし

①まずはデカールのレイアウトをよく確認してどのように重ねるかを確認。今回だと、ボンネットのピンクのストライプ＆ゼッケンとフロントフェンダーエアアウトレット部のゼッケンがポイントになりますので、どういう順でどう重ねて貼っていくかシミュレーションしておきます

②サーフェイサーで表面を整えたあと発色をよくするためホワイトをムラなく塗装します。ツルツルの表面にしておくために、デカールを貼る前に全体をクリアでコートします

③ヒートガンで温め平筆でなじませるようにして

1枚ずつデカールを貼っていきます

④デカールを貼るときは、どこを起点に貼りはじめるかはシワくちゃにならず手間が減るかよく考えながら作業を進めましょう

⑤スジ彫りのところは、全体の貼り付けを終えてからデザインナイフで切り込みを入れ、軟化剤＋ヒートガンでデカールを柔らかくして凹部にじませていくようにします

⑥デカールを貼り終えたらクリアで全体をコート。デカールの段差をなくしたいなら、クリア塗膜を削る研ぎ出しをします



9784499233422



1920076037009

ISBN978-4-499-23342-2 C0076 ¥3700E

定価(本体3,700円+税)

Model Graphix ARCHIVES クルマ模型って めんどくさい!!

デカール攻略大作戦+高橋浩二作例集

